



放棄地解消を目指した人材を確保していく。  
問 来年度計画している地域おこし協力隊と現在いる協力隊員の中で同じような仕事になりそうだが。  
町長 農業に関しては、本年度はオリーブに特化しているのかぶらな。観光に関しては、女性に来ていただきたいと考えている。本年との違いは明確になっている。

▽ツイッターの発信とデータ活用  
問 9月27日より町の情報を発信するツイッターを開始しようだが、利用者数が少なく感じる。今後どのように周知していく予定か。またその他のサービスの検討は。  
町長 情報配信メールを補完するものとして開設した。ホームページ閲覧数が月平均約7千件に対し、ツイッター閲覧数は約2万件となっている。今後は、「広報ひがしいず」での広報や、産業団体連絡協議会の構成団体の方に周知するなどして閲覧数の増加を図ってきたい。その他サービスについてはフェイスブックの開設に向け研究、連携を検討している。  
問 総務省が行っている「ICT地域マネージャー派遣事業」の検討



はようになったか。  
町長 現在、町の電算担当係はマイナンバー制度の導入、グループウェアの入れ替え等大規模更新を予定している為、当面派遣事業については見送っている。  
問 川根本町では光ファイバー導入とともにICT(情報通信技術)の活用を進めている。当町ではどのように行うのか。  
町長 県主催の行政経営研究会のICT利活用部会に町職員を派遣している。他自治体の活用事例を参考に検討を行っている。

### 公園遊具の点検状況は

答 定期点検を年2回実施  
不具合がある遊具は使用禁止に



笠井政明議員

▽公園の遊具  
問 稲取ふれあいの森にある遊具の安全点検等の計画は。  
町長 年間を通じた維持管理を業者に委託している。その中でアスレチックの森やジャンボ滑り台、その周辺遊具については毎月点検をしている。  
問 その他の公園において、遊具の定期点検等はどのように行われているか。  
町長 年間を通じた維持管理を業者に委託している。その中でアスレチックの森やジャンボ滑り台、その周辺遊具については毎月点検をしている。また雨天時に子供達が遊べる場所の要望も受けている。  
問 公園整備は子育ての

か。また修繕の予定は。  
町長 遊具の非破壊点検と砂場の大腸菌検査を年1回、定期点検を年2回行っている。不具合のある遊具は使用禁止にしている。修繕には多額の費用が掛かるので、利用者の利便性を考えながら対応する。  
問 修繕の必要性が生じた場合、優先的に行う場所の計画は。  
町長 現在計画は無い。しかし保護者からは、一か所でも良いので安全に遊べる遊具があるよう要望があがっている。また雨天時に子供達が遊べる場所の要望も受けている。



不具合のある遊具は使用禁止にしている  
～片瀬の都市公園内にある遊具～

条件の一つにもなるので、ぜひ計画を立てて進めていただきたい。  
町長 費用が掛かる部分だが、前向きに検討していく。



### ▽地域おこし協力隊

問 3名の隊員の今までの活動実績は。  
町長 オリーブ栽培と市民農園支援、空き家対策ではダイロクキッチンで多種多様のイベントを積極的に開催している。また、観光振興では地域の魅力を外からの目で発信し、地元では利用されないものを、資源として活かしたグッズ開発等おこなっている。  
問 来年度以降の事業計画と、新たな隊員採用の予定は。  
町長 活動中の3名については、引き続き現在の事業を継続し、3年の任期が終了しても自立し、この街に引き続き住んで地域活性に取り組みんでいただけるよう、町は支援していく。来年度以降の新規採用については、漁業振興、観光振興、耕作

### ▽投票率の向上にむけて

問 まちの発展のために、政治や選挙に関心を呼びかけよう。町民に投票を呼びかけるべきだ。  
選挙管理委員会書記長 町民からの厳しい目が必要。大型店舗や町民大会での呼びかけ、チラシ等の配布で選挙の啓発を行っている。  
問 投票をした人に、買い物時に割引がされる投票済証明書が発行したらどうか。  
町長 投票をした人、買入者、病院の入院患者や施設の入所者は、郵便による投票ができるが、自宅で介護されている方は本人が投票所に行き投票することができない。  
町長 今の公職選挙法では、病院の入院患者や施設の入所者は、郵便による投票ができるが、自宅で介護されている方は本人が投票所に行き投票することができない。



鈴木 勉議員



政治や選挙に関心をもちたい人には  
答 町民の厳しい目が必要